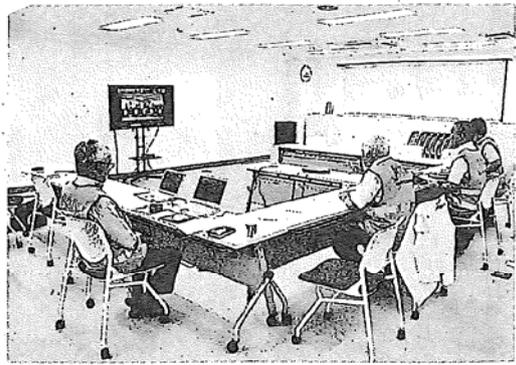


緊急時の情報伝達手順確認

建コン協 九州支部ら
災害時対応演習実施



（二社）建設コンサル
タツシ協会九州支部（田
中清支部長）は2日、協
会本部、各支部とともに
災害時対応演習Ⅱ写真Ⅱ
を、連絡を取り合いなが

を実施し、緊急時の情報
伝達手順などを確認し

た。本部と各支部をオン
ライン会議ツールでつな

ぎ、連絡を取り合いなが

ら演習に取り組んだ。

九州支部からは、田中

支部長をはじめ、上村俊

英副支部長、森山秀馬対

外活動部会長、能見忠歳

防災委員長、吉田鉄治事

務局長が演習に参加し

た。冒頭、協会本部の中

村哲己会長は「日本全国

で災害が発生する可能性

が高くなっている。その

時に対応できるよう普段

の備えが重要。想定して

いる行動や対応が適切な

ものがしっかりと検証し

ていきたい」と述べた。

演習では、中国地方五

日市断層を震源とするマ

グニチユード7・0の地

震が発生し、人や建物、

インフラに甚大な被害が

出たと仮定。中国支部に

災害対策現地本部を設置

し、東京の協会本部と各

支部がこれを支援する流

れで演習を進めた。

電子メールを使用し

て、現地本部と協会本

部・各支部間で被災状況

の報告や、支援要請など

のやり取りを実施。正確

に情報の伝達が行われて
いるかをオンライン会議
上で随時確認しながら進
行した。

演習終了後の反省会で
は、演習の中で浮上した
課題や疑問について、本
部や各支部とともに議
論。より実効性の高い災
害時対応フォーマットの
作成について検討を進め
ることなどを確認した。